

令和6年度 保育所における自己評価

園名 佐賀市立若葉保育所

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。このことに基づき、佐賀市公立保育所では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、よりよい教育・保育に向けた、改善や充実に取り組んで参ります。

園目標
心身ともに健康で感性豊かな子どもの育成 ・友達と一緒に元気に遊ぶ子ども ・感性豊かに自己表出する子ども ・食に関心をもつ子ども

【評価結果の表示方法】 ※評価するにあたっては、以下のような基準で行っています。

A：90%以上・・・十分達成されている。

B：70～89%・・・達成されている。

C：50～69%・・・取り組みがされているが、成果が十分ではない。

D：49%以下・・・取り組みが不十分である。

評価項目	A B C D 評価	評価内容
保育方針・保育目標	B	保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有していた。
子どもの発達援助	B	一人一人の子どもや集団の姿をとらえ、全職員で保育を行った。
保護者との連携	B	懇談や送迎時に保育内容や子どもの様子を伝え、保護者に寄り添った対応や連携を行った。
地域との連携	B	子育て支援機関や医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供した。
運営・管理	B	職員の役割分担と責任を明確にし、能率的かつ迅速な対応ができる体制であった。
職員の資質向上	B	実践的研修に取り組み、日常の保育に生かして子どもの育ちに反映した。
健康・安全	B	園内外の危険箇所の見直しや衛生的な保持に努めた。
食育	B	個別に配慮した食事を提供し、子どもが楽しく食べ、食べる意欲が育つ工夫をした。

総合評価

【保育方針・保育目標】

・今まで“あたりまえ”としてやってきたことを原点に立ち返って見直し、良いところは園の強みとして引き継ぎ大切にし、“もっとよくなる”ためにどうしたら良いか職員皆で考え、改善に取り組んだ。今後も保育目標に沿って、子どもにとってより良い保育環境を考え、園全体で保育に取り組んでいきたい。

【子どもの発達援助】

・子どもの姿や保育士の関わりで大切にしていることなどを担任だけではなく職員同士で共有し、全職員で子どもたちの育ちを支えていくことを大事にした。今後は、保育を見合ったり自身の保育を客観視したりするなど相互に学ぶ機会をもっていきたい。

【保護者との連携】

・毎日の保育の様子をメッセージボードに写真を添えて保護者に伝えるとともに、顔を合わせて会話することも大切にしてきた。保護者からは、担任以外の職員からも園での子どもの様子を聞くことができ嬉しいと、評価いただくこともあった。また、保護者参加の行事では、保護者と子どもたちが一緒に楽しめるように保護者役員も交えて計画した。今後は、職員が子どもたち一人ひとりの健やかな育ちを支援できるよう、新年度のクラス担任と保護者との個人面談の機会をもち、信頼関係を築きながら連携と情報共有に努めたい。

【地域との連携】

・園に隣接するサンライズパークではSAGA2024国スポ・全障スポが開催され、子ども達は“観る・応援する楽しさ”を味わいながら、自園の運動会へとつながっていった。近所の“もろどみのおじちゃん”は、数十年前から今でも散歩をする子どもたちを見守ってくださり、園の行事にもご参加いただいている。隣の警察学校と七夕や年末の餅つきなどで交流を行い、学生の皆さんが安全講習を行ってくださっている。地域の方とのご縁を今後も深めていけるよう、日常の中で顔を合わせ言葉を交わせる関わりを続けていきたい。

【運営・管理】

・自園には、周りに声を掛け合ってお互いに協力しながら取り組むことができる職場風土がある。職員一人ひとりがそれぞれの役割を認識し、さらにリーダーシップとフォロワーシップを発揮していくことで、より良い成果につなげたい。

【職員の資質向上】

・外部研修への参加や外部講師を招いた園内研修により、スキルや知識の習得を図った。個々での研修による学びを他職員へ広げたり深めたりできるような機会をもち、個々のスキルアップを図るとともに園全体の職員の保育力向上を図りたい。

【健康・安全】

・毎月の避難訓練では、“もしも”の想定を明確にし、“そのとき、どう行動するのか”をしっかりとイメージした訓練となるよう工夫し、その後の課題を共有し訓練を重ねた。毎月、園舎内及び園敷地内の安全点検を行い、危険個所を把握して、軽微な修繕は職員で改善対応するなど安全の確保を図っている。また、大きな修繕が必要な場合には、随時、保育幼稚園課へ報告し、修繕対応を依頼している。今後も安心安全な保育環境づくりに努めていく。

【食育】

・「本日の給食・おやつ」の写真掲示に旬の食材や調理の工夫などの一言エピソードを添えて保護者へ発信した。夏野菜栽培を通して、生長の喜びや収穫したものを食べる楽しさを味わった。安心安全な給食提供を第一に、子どもたちと給食調理師が顔を合わせる関係作りを大切にしたい。

来年度に向けた取り組み

～ わらいごえ あふれる **かわいい** こどもたちが あんしんして **すごせるば** ～

- ・豊かな感性を育み、自分なりの表現を楽しむ子どもの育成
- ・子どもたちの遊びの時間と環境の充実
- ・担任と保護者との個人面談の実施
- ・それぞれが自分の役割を認識し、責任感をもって、お互いに認め合い支え合う組織づくり
- ・職員一人ひとりのスキルアップと園全体の保育力向上を図る